



Q、香取市では車が対向車とすれ違えない狭い道路が少なくない。緊急時の救急車や火災時の消防車が通行できない狭い道路が多数あり、人命救助や災害対応に悪影響を及ぼす。このような現状をどのように考えているか、また問題解決にどのような方法があるのか。

A、狭あい道路は、緊急車両の通行を妨げる恐れがあるほか、災害時の避難路、日照や通風等の確保など安全で良好な環境を形成する上で問題があります。安全で良好

救急車・消防車が通れるように狭い道路の拡幅を



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

くぼき 久保木宗一 議員



Q、建築基準法では、狭い道路の中心線から2mセットバックして新築する。反対側の人も家を建てれば2mセットバックして塀や門扉を作る。

最終的には4m道路ができ、車がすれ違え、緊急時・日常の生活にも支障を来さないための法律である。なかなかこれが守られていない。それを解消するため地権者に行政が財政的な支



狭い道路の拡幅に市の補助金を

意見 狭い道路は人命救助や災害対応に悪影響を及ぼすほか、車がすれ違ふ際一方が道を譲るためにバックしたり立ち往生し、後続車を含めた交通渋滞を引き起こす。このような道路は接触事故のリスクを高め、歩行者の安全を脅かす深刻な問題も抱えているため早急な解消を求めたい。

な生活環境を確保するために、狭あい道路の解消は重要な課題と考えます。問題の解決としては、まず狭あい道路の状況を把握し、関係する権利者や地域住民の理解と協力を得ながら、個別の事情に応じて、柔軟に対応する必要があると考えます。

意見 土地面積を減らしたくない気持ちはわかるが、拡幅すれば本人自身の利用もしやすいし、緊急時も安全に通行できる。また、この問題を解決していかないと災害対応、緊急車両の対応に支障が生じ、いつか大きな災害につながっていくということにもなるので、ぜひ条例制定について、真剣に研究、検討していただきたい。

Q、他市の道路拡幅条例を参考にし、災害対策ということも含めて検討してはどうか。

A、条例を制定しているいろいろな先進自治体を参考として、担当課において様々な事例を研究していきます。

援をする「狭あい道路拡幅整備条例」が必要では。

A、狭あい道路の状況は地域により様々であるため、地域住民のご理解とご協力を得ながら、個別の事情に応じた柔軟な対応が重要であると考えます。条例の制定については、現時点で制定している自治体は多くはなく、補助金等の要綱で対応する自治体など様々です。このような状況の中、香取市では条例を制定するということではなく、建築基準法の確認事務を管轄する香取土木事務所と連携して対応したいと考えます。また、国から狭あい道路対策に関するガイドラインが示されていますので、それを参考により効果的な手法について研究していきます。

災害時における災害関連死を防げ



二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

たしろかずお 田代一男 議員



Q、災害時における災害関連死が犠牲者の約7割から8割を占めることをどのように捉えているか。

A、大規模災害時には、被災者の疲労やストレス、持病の悪化などにより、災害関連死の発生が危惧されます。これを防ぐことは、大変重要であると認識しています。このため、避難生活下の災害関連死を防ぐため、更なる避難所の環境改善に取り組んでいきます。

Q、1人暮らしの方を社会的に孤立させない

Q、香取市でも身元が分からなかったり、引き取り手がいなかったりして市で火葬する遺体数が増加傾向にあるようだが、このことをどのように捉えているか。

A、身元不明や引き取り手不在等の理由で、香取市が火葬する件数は増加傾向にあります。増加の要因には、単身の方が亡くなった際に、引き取り手が不在であることなどが挙げられます。全国的に自宅での死亡割合が増加傾向にあることや、独居の世帯数の割合も高まり、高齢化率も上昇していることから、香取市においても重要な地域課題であると捉えています。

1人暮らしの方を社会的に孤立させない

Q、避難環境の改善のための避難所へのTB（トイレ、キッチン、ベッド）では、特にトイレの問題は切実である。快適なトイレ環境を確保するために移動式のトイレカーやトイレトレーラーの導入が必要だと考えるが、香取市の見解は。

A、香取市がトイレカーなどを導入する計画は現時点ではありませんが、令和7年2月に、建設機材等のレンタル会社と、仮設トイレなどの提供を受けることができる災害協定を締結し、必要に応じてトイレカー等の提供を受けることが可能となっています。

Q、行政から依頼する各種委員の選出は自治会にとって重い負担になっている。市で行うようにできないか。

A、香取市から依頼する各種委員の推薦は、地域にとって必要な委員の推薦を地域に精通する自治会に依頼しているものです。自治会にとって負担となっていることから、今後は各担当課へ必要性や代替手法等についての検討等を働きかけます。

Q、各自治会からさまざまな課題を訴える声が市にも届いているかと思うが、香取市が把握している自治会の課題は何か。

A、香取市が把握する自治会の課題として、人口減少や高齢化により自治会役員や活動の担い手が不足していること、自治会に加入しない世帯が増えていること、地域の環境整備活動等が難しくなっていること、などが挙げられます。

自治会の課題に対応を

対策の取り組みは、何か講じているか。

A、香取市では、行政と関係機関が地域と連携してネットワークを形成し、地域全体で要援護者を見守る「香取市見守りネットワーク事業」を実施しています。併せて、自治会や協力団体にも見守りを依頼し、生活の変化をいち早く把握することで、孤立死などの重大な状況を未然に防ぐように努めています。